



排ガス中の PFAS 調査

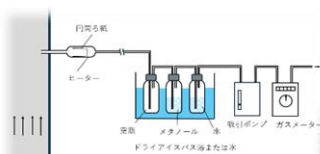


～環境省策定「技術的留意事項」に基づく適正処理の第一歩～

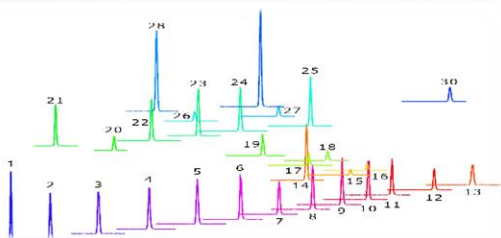
なぜ、排ガス中 PFAS 調査が重要なのか？

現在、PFOS・PFOA などの PFAS を含む廃棄物は、焼却処理が主流となっています。しかしながら、工場や焼却施設などの排ガスからは、意図しない**残留 PFAS の大気拡散**が懸念されています。

その状況下で、環境省は 2022 年に「**PFOS 及び PFOA 含有廃棄物の処理に関する技術的留意事項**」を策定し、排ガス調査を含めた内容について示しています。今、**焼却施設での排ガス中 PFAS 調査・分析**が重要視されています。



排出ガス採取イメージ



PFAS 分析装置：LC-MS/MS
高感度分析により微量成分検出・多成分同時検出が可能となります

「PFOS及びPFOA含有廃棄物の処理に関する技術的留意事項」（環境省 2022 年策定）

- 目的
PFOS とその塩及び PFOA とその塩(以降 PFOS・PFOA)を含む廃棄物の、適正な取扱い・分解処理を確保するために必要な事項を示す
- 対象
PFOS・PFOA を含む製品や原体、またはそれらを使用した製品から排出された固形・液状廃棄物
- 処理の基本方針
高温焼却による完全分解、排ガス・ばいじん・飛灰中の PFOS・PFOA 濃度の定期的なモニタリング、処理施設の適正な選定と管理
- 適正性の評価
排ガス・廃水・残さなどの調査結果から、バーゼル条約に基づく POPs の環境上適正な分解処理の要件、処理性能、及び管理目標値を算出し評価
 - ・要件：分解効率 99.999% (5 ナイン) 以上
 - ・処理性能：分解除去効率 99.9999% (6 ナイン) 以上
 - ・PFOS・PFOA 濃度が管理目標値以下

調査でわかること・メリット

「PFAS 種類と排出量」

- ➡ 排出実態の把握により**環境リスクの早期把握**が可能
- ➡ **環境配慮型企業としての評価**

「処理方法の適正性」

- ➡ 分解効率などの算出により**処理の適正性を科学的に裏付け**
- ➡ **企業信頼性向上**

多成分一斉分析を有効に活用！

弊社では 30 種類の PFAS に対応した**多成分一斉分析技術「ISO21675」**を導入しています。

PFAS の多成分一斉分析結果からは、「**処理工程におけるマテリアルバランス**」「**処理条件による PFAS 副生成物**」の推察が可能です。これらをふまえた、処理に有益な情報・技術を御提案します。

PFAS 調査・分析から適正処理評価まで、すべて弊社へお任せください！！

排ガス中 PFAS の実態把握には、採取方法などの専門的な技術が必要です。また、適正処理の評価には、「PFOS 及び PFOA 含有廃棄物の処理に関する技術的留意事項」の深い知識が必要です。

弊社では分析のプロが長年培ってきた経験をもとに、**採取から分析・評価まで高品質の成果をご提供します。**

分析のご相談、ご用命は

株式会社環境総合リサーチは株式会社建設技術研究所（CTI）グループの一員です。

株式会社
環境総合リサーチ
Environmental Research & Solutions co., Ltd.
e-mail : contact@ctiers.co.jp URL : http://www.ctiers.co.jp/

本社・けいはんな事業所：〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台二丁目 3 番 9
Tel.0774-41-0200 Fax.0774-95-6510
中部事業所：〒444-0012 愛知県岡崎市栄町 4 丁目 1 番地
Tel.0564-21-0062 Fax.0564-65-5277
東京事業所：〒135-0016 東京都江東区東陽 6 丁目 5-6
Tel.03-6666-0570 Fax.03-6666-0571